

あなたの受けたCTやMRI検査は

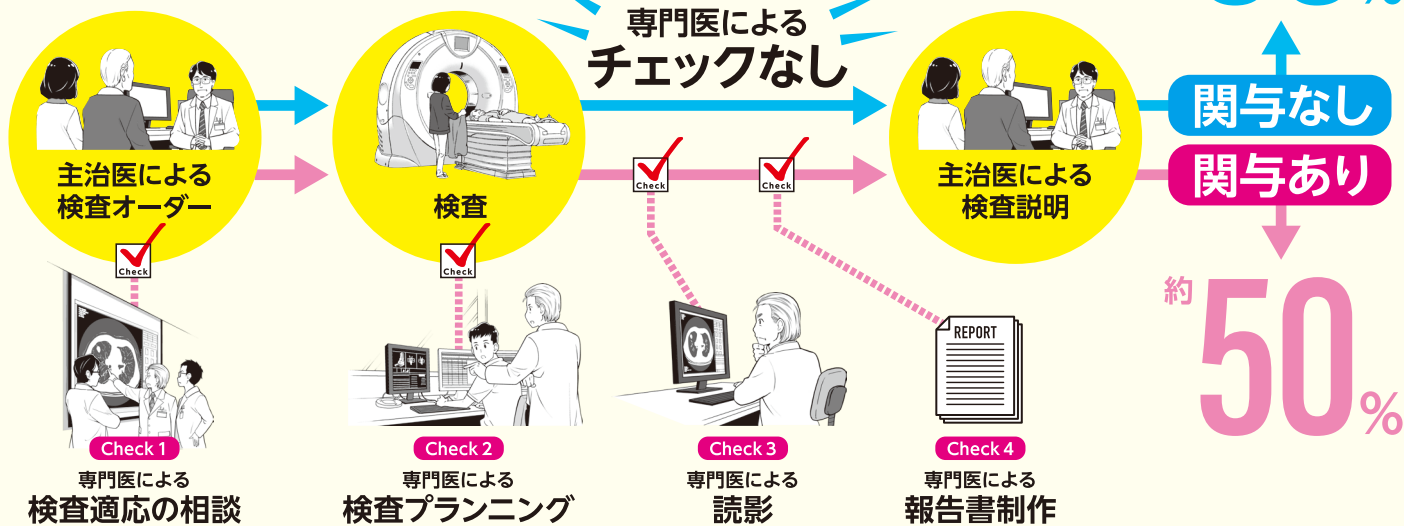
# 放射線科専門医による



## チェック入っていますか？

実は全国的にみると  
放射線科医の関与がある検査は全体の半数のみ…

[CT・MRI検査の流れ]



画像診断の専門家が**関与しない**ことによる**弊害は？**

関与がない場合

弊害ケース……①

### 検査適応の誤り

診断に適した検査を選択できなければ正しい結論に至ることはできません。また無駄な検査を減らすことも医療被ばくの低減には重要です。

弊害ケース……②

### 病変見逃し

主治医は自分の専門領域を中心に画像を見ます。それ以外の場所に病変が偶然、写っていたとしても気が付かないことが多々あります。

関与があったとしても…

弊害ケース……③

### 主治医が報告書を確認していない

これは本当はあってはならないことですが実際に有名大学病院でこのような確認ミスが報道されています。

## 安心・安全の医療はまず正しい診断から！

そのためには圧倒的な**放射線科医の不足**を解消しなければいけません。

## 現状分析

Facts

日本のCT・MRI保有台数は対人口比で

# 世界1位!

即ちアクセスは良好…

しかし

対人口比の放射線科医数は

# 米国

のわずか 

# 1/4

(厚生労働省調べ)

必然的に

放射線科医が  
常駐する医療機関は全体の

# 20%以下

大半のCT・MRI検査は  
放射線科医の監督下でない  
(中島ら日本医会誌 2005)



医師全体に占める  
放射線科医の数はわずか

# 2%

放射線科専門医数：6,587人  
内科のおよそ10分の1ほど…  
(平成28年(2016年)三師調査)



## 需要過多

放射線科医一人当たりの読影件数は

High demands

# 世界1位

一方で

CT検査数15年間で

# 5倍に増加

●1990-2005のデータ (New England Journal of Medicine 2007)

大多数の放射線科医が**過重労働**の状態にあります!

- 豪、加、仏、独、韓、英、米はのCT・MRI 2000-3000 examinations/radiologist
- 日本は8137 examinations/radiologist

## 供給不足

Low supply

放射線科医数の増加率は年間

# 5%未満

このペースだと10年後でも  
必要数の半分に満たないことが  
想定される

# 放射線科医の 育成が追いついて いない

画像診断のゲートキーパーである放射線科医が不足するため…

# 医療被ばくが欧米の3倍とも言われる

(Lancet, 363: 345-351, 2004)



JCRによる施設認証(accreditation)が始まりました。詳しくはJCRのホームページをご覧ください。  
JCRの認証マークが掲げている施設では放射線科医が常駐しており安心して検査を受けて戴けます。

<https://www.jcr.or.jp/>

